

「オレンジカップ」長崎海保代表として七管区へ

七管区のオレンジカップ予選会に「巡視船でじま」から4名（3組）が参加しました。4名は、潜水士から救難技術の指導を受け、勤務終了後や隙間時間を使い訓練を重ね予選会に挑み、結果1名が長崎保安部代表として第七管区海上保安本部に選出されました。



要救助者搬送



狭所を想定した搬送

海上保安庁では、救難対応能力の向上を目的として例年「救難技術審査会」（通称：オレンジカップ）が開催されています。

※ オレンジ色は、国際的な「救難」のシンボルカラーであることから、本審査会は当庁内において通称「オレンジカップ」と言われています。

本審査会では、若手海上保安官を中心に救難技術を競い、今年度は2人1組のペアで

①結索 ②空気呼吸器取扱い・搬送 ③心肺蘇生法の3種目が競われました。

選考は、各保安部等において予選会が開催され、各管区の代表を本庁へ選出、海保で上位3チームを決定します。なお、コロナ禍の影響により新型コロナ感染防止の観点から、各種競技をビデオ撮影し、映像での審査となっています。

Dejimagram

～巡視船でじま日常紹介～

結索



空気呼吸器取扱い



心肺蘇生法



空気呼吸器取扱い

